



愛知県政記者クラブ  
 名古屋市政記者クラブ  
 豊田市政記者クラブ  
 中部芸術文化記者クラブ 同時

2019年6月27日(木)  
 愛知県民文化局文化芸術課  
 トリエンナーレ推進室事業第一グループ  
 担当：小柳津、古谷ふるたに  
 内線：724-681、724-682  
 ダイヤルイン：052-971-6127

## 「あいちトリエンナーレ 2019」ラーニングプログラムの参加者を募集します

あいちトリエンナーレ実行委員会では、「あいちトリエンナーレ 2019」の会期中、ラーニングプログラムとして「受けとめる・深める・形にする・オーナーシップ」をキーワードに、来場者の創造性を発揮する場所「アート・プレイグラウンド」を常設するとともに、各種プログラムを実施します。

### 1 ラーニングプログラムとは

「あいちトリエンナーレ 2019」ラーニングでは、「受けとめる・深める・形にする・オーナーシップ」をキーワードに、来場者の相互的な学びの場を目指した活動を展開します。

### 2 アート・プレイグラウンド

来場者のクリエイティブな活動をサポートする拠点を5か所設けます。

会期：2019年8月1日(木)から10月14日(月・祝)まで

テーマ及び内容	会場及び実施時間
<b>【あそぶ PLAY】</b> ダンボールを使った公園をつくりまします。「アーティスト派遣事業」に参加し「ダンボール研究」を行ってきた子どもたちが、 <small>えんどうみきこ ひびのかつひこ</small> 遠藤幹子氏・日比野克彦氏とともに会場づくりを行います。会期中、来場者も自らアイデアを出したり、手を動かしたりして、公園の様子を変えていきます。	愛知芸術文化センター 8階J室 午前10時から午後5時15分まで、定員入替制
<b>【はなす TALK】</b> アートについていろんな人と話すことができる場所をつくりまします。誰かの考えと出会うことで、更に思いが広がっていくことのおもしろさを体験します。	愛知芸術文化センター 8階ロビー 午前10時から午後6時まで (金曜は午後8時まで)
<b>【つくる CREATE】</b> 昔ながらの道具から新しい技術まで、様々な手法を用い、「何かをつくりだすことの楽しさ」や、その過程を知ることができる場所をつくりまします。	名古屋市美術館 地下常設展示室3 午前10時から午後5時まで (正午から午後1時30分までは休止)
<b>【もてなす INTERACT】</b> 四間道・円頓寺の商店街を訪れた人や、まちの人々、商店街の人など、色々な人々とまちの“名物”を考え、実際に商品化も目指していく場所をつくりまします。	なごのステーション 正午から午後8時まで

【しらせる OUTREACH】 情報発信する場所をつくります。ラジオや雑誌など様々な媒体を用い、自分の考えをどのように伝えていくか試みます。	豊田市美術館 ワークショップルーム 午前10時から午後5時30分まで
---	--

(共通事項)

- ・混雑時には入場制限を行うことがあります。
- ・休館日は国際現代美術展に準じます。
- ・参加費は無料です。

## 2 各種プログラム

### (1) 事前申込みが必要なプログラム

#### ア ベビーカーツアー

「あいちトリエンナーレ 2016」で好評だったプログラムを今回も実施します。小さい子どもとの反応なども共有しながら、キュレーター等とともに、ゆったりとトリエンナーレを楽しみます。

(ア) 実施日時と会場

実施日	実施時間	会場
8月12日(月・休)	午前10時から午前11時まで	愛知芸術文化センター
8月17日(土)		名古屋市美術館
8月31日(土)	午前9時から午前10時まで	豊田市美術館

(イ) 対象：18か月までの子どもとその保護者(保護者同伴)

(ウ) 定員：各回5組 ※希望者多数の場合は抽選

(エ) 参加費：無料 ※保護者の方は「国際現代美術展」チケットが別途必要です。

#### イ 「つくる」ユニフォームをつくる!

古着を解体して、「あいちトリエンナーレ 2019」芸術監督の津田大介氏やアート・プレイグラウンドの活動参加者のためのすてきな「ユニフォーム」をつくります。

(ア) 実施日時と会場

実施日	実施時間	会場
8月14日(水)	午前10時から午後3時まで	名古屋市美術館

(イ) 対象：小学3年生から中学生まで

(ウ) 定員：10名 ※希望者多数の場合は抽選

(エ) 参加費：無料

#### ウ 申込方法

2019年7月1日(月)から7月31日(水)まで受付を行います。あいちトリエンナーレ公式 Web サイト イベント申込フォーム内

(<http://aichitriennale.jp/event/index.html>) よりお申込みください。

(2) 事前申込みが不要なプログラム（当日先着受付）

ア ボランティアによるガイドツアー

対話型アート鑑賞の研修を重ねた、ガイドボランティアによる鑑賞ツアーを各会場で実施します。

(ア) 実施会場と日時

会場等	実施日	実施時間
愛知芸術文化センター 名古屋市美術館 四間道・円頓寺 豊田市駅周辺	会期中の金曜日、土曜日、日曜日、 祝日	実施時間は決定次第、 あいちトリエンナーレ 公式 Web サイトに掲載
豊田市美術館	会期中の火曜日、水曜日、金曜日、 土曜日、日曜日、祝日	

(イ) 定員：各回 20 名程度

(ウ) 参加費：無料 ※高校生以上は「国際現代美術展」チケットが別途必要です。  
(ただし、豊田市駅周辺を除く)

イ アーティスト「と」みるツアー

アーティストが“先生”として“正解”を答えるのではなく、新しい視点の提案者として一緒にツアーに参加することで、来場者の作品の見方を拡張し、作品鑑賞の体験がより深まることを目指します。

(ア) 実施日時、会場及び参加アーティスト

(本ツアーのアーティストは、「あいちトリエンナーレ 2019」の出展アーティストではありません)

実施日	実施時間	会場及び参加アーティスト
8月12日(月・休)	午後2時から 午後3時まで	愛知芸術文化センター (参加アーティスト： <small>したみちもとゆき</small> 下道基行)
8月17日(土)		名古屋市美術館 (参加アーティスト： <small>みやながあいこ</small> 宮永愛子)
8月31日(土)	午後3時から 午後4時まで	豊田市美術館 (参加アーティスト： <small>おぐりさやこ</small> 小栗沙弥子)
9月7日(土)	午後2時から 午後3時まで	愛知芸術文化センター (参加アーティスト： <small>やまもとたかゆき</small> 山本高之)
9月28日(土)	午前10時から 午前11時まで	豊田市駅周辺 (参加アーティスト： <small>やまぐちけいこ</small> 山口恵子)
9月29日(日)	午後4時から 午後5時まで	四間道・円頓寺 (参加アーティスト： <small>てらうちようこ</small> 寺内曜子)

(イ) 定員：各回 10 名程度

(ウ) 参加費：無料 ※高校生以上は「国際現代美術展」チケットが別途必要です。  
(ただし、豊田市駅周辺を除く)

### 3 共通事項

#### (1) 実施会場

- ア 愛知芸術文化センター  
名古屋市東区東桜一丁目 13 番 2 号
- イ 名古屋市美術館  
名古屋市中区栄二丁目 17 番 25 号
- ウ なごのステーション（四間道・円頓寺）  
名古屋市西区那古野 1 丁目 2 3-9
- エ 豊田市美術館  
豊田市小坂本町 8 丁目 5 番地 1

#### (2) その他

- ・各プログラムの集合場所は決定次第あいちトリエンナーレ公式 Web サイトに掲載します。
- ・ゲスト及び内容は、一部変更となる可能性があります。
- ・新たなプログラムを実施する場合は、あいちトリエンナーレ公式 Web サイトに掲載します。

### 4 問合せ先

あいちトリエンナーレ実行委員会事務局

アート・プレイグラウンドについて：小柳津、古谷

各種プログラムについて：小柳津、阿部

住 所 〒461-8525

名古屋市東区東桜一丁目 13-2 愛知芸術文化センター6 階

(愛知県県民文化局文化部文化芸術課トリエンナーレ推進室内)

電 話 052-971-6127

F A X 052-971-6115

E-Mail triennale@pref.aichi.lg.jp

U R L <http://aichitriennale.jp/>

#### 「あいちトリエンナーレ2019」概要

テ ー マ：情の時代 Taming Y/Our Passion

会 期：2019年8月1日（木）～10月14日（月・祝） [75日間]

芸術監督：津田大介 ジャーナリスト／メディア・アクティビスト

会 場：愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内のまちなか（四間道・円頓寺）、豊田市（豊田市美術館及び豊田市駅周辺）

内 容：あいちトリエンナーレは、2010年から3年ごとに開催する国内最大規模の国際芸術祭。4回目となる今回は、国内外から80組以上のアーティストを迎え、国際現代美術展のほか、映像プログラム、パフォーマンスアーツ、音楽プログラムなど様々な表現を横断する、最先端の芸術作品を紹介。

《参考》【アーティスト「と」みるツアー】参加アーティストプロフィール

したみちもとゆき  
下道基行 (<http://m-shitamichi.com/>)

岡山県生まれ。

アジアを中心にリサーチやフィールドワークを軸とした写真作品等を発表している。近年は「津波石」をテーマに作品制作をおこなっている。「あいちトリエンナーレ 2013」、「第 58 回ヴェネチア・ビエンナーレ」(2019) 日本館参加作家。

みやながあいこ  
宮永愛子 (<http://www.aiko-m.com/index.html>)

京都府生まれ。

衣服や靴などの日用品をナフタリンでかたどった作品や、川や海から抽出した塩の結晶を育てた作品など、時間とともに変化してゆく立体作品を制作している。2019年7月17日から、四国初の個展「宮永愛子：漕法」(高松市美術館)が開催される。「あいちトリエンナーレ 2010」参加作家。

おぐりさやか  
小栗沙弥子 (<https://sayako-oguri.jimdo.com/>)

岐阜県生まれ。

日常の行動の中でふと見つけたものや出来事を起点に作品を制作。2013年より1年間、ポーラ美術振興財団在外研修員としてタイに滞在。「あいちトリエンナーレ 2010」「あいちトリエンナーレ地域展開事業 Windshield Time ーわたしのフロントガラスから」(2019) 参加作家。

やまもとたかゆき  
山本高之 (<http://takayukiyamamoto.com/>)

愛知県生まれ。

チェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザイン MA 終了。小学校教諭としての経験から子どもたちとのワークショップを介し、社会の矛盾や不条理をユーモアと批評性をもって提示する映像作品を制作している。近年は地域コミュニティと協働したプロジェクトにも取り組み、その中の1つ「名古屋オリンピック・リサーチコレクティブ」が進行中。「あいちトリエンナーレ 2010」、「Go Betweens 子どもを通して見る世界」(森美術館ほか 2014-2015)、コチ=ムジリス・ビエンナーレ (インド 2016)、Asian Art Award 2017 (寺田倉庫アートスペース 2017) 「Assembridge NAGOYA 2018、2019」など。

やまぐちけいこ  
山口恵子 (<https://brdg-ing.tumblr.com/aboutus>)

大阪府生まれ。

俳優、演出家。2011年、かななべかの川那辺香乃と共に BRDG を立ち上げ、実存する橋をリサーチし俳優と創作した演劇作品「ハシ×ワタシ」を演出。国内外の国際共同制作に数多く関わりながら、移動する現代の人々が共有する人間模様に興味を持って制作活動に取り組んでいる。

てらうちようこ  
寺内曜子 ([https://www.aichi-fam-u.ac.jp/faculty/faculty\\_000129.html](https://www.aichi-fam-u.ac.jp/faculty/faculty_000129.html))

東京生まれ。

ロンドン、セント・マーティンズ美術学校彫刻アドバンストコース修了。20年間英国で活動後1999年帰国。裏表、内外など、あたりまえと見なされている対立項の解消、それを支える二元論への疑問を、素材から必然的に成る形の彫刻や、部分しか見えない状況を与えるインスタレーションで提示しつづけている。愛知県立芸術大学教授。「空間体験」(2000 国立国際美術館)、「寺内曜子展」(2013 アートラボあいち) など。